

本時のねらい

記事の内容や写真など複数の情報をもとに見出しを考え、互いに読み合って助言し合うことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

学習用端末を使用して、児童のワークシートを共有することで、児童が全ての班の資料をすぐ見ることができ、話し合いを活発化することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型モニター ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○前時の見出しについて考えた活動を振り返り、見出しとは何かを確認する。 ○めあての確認をする。 「読みたいくなる新聞の見出しを作ろう。」 【写真1】	○大型モニターで見出しと見出しを書くポイントを提示しイメージを持たせる。
展開 (30分)	○自分で見出しを考える。 ○自分で考えた見出しをもとに、班でより良い見出しを考える。 ○全ての班の見出しを読み比べ、工夫しているところや良いところ、より良くするためのポイントを探し、共有する。 【写真2】	○ロイロノートを使い見出しを作成する。 ○考えた見出しをロイロノートでお互いに見せながら、班でより良い見出しを考える。 ○提出させたものを大型モニターに提示し、全体で共有する。
まとめ (10分)	○自分の見出しをもう一度振り返り、より良いものにする。 ○本時の学習の振り返りを書く。 【写真3】	○ロイロノートで作成する。 ○アンケート機能で振り返りを行う。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】大型モニターで見出しを書くポイントを提示しイメージを持たせている様子



【写真2】ロイロノートをお互いに見せながら、班でより良い見出しを考えている様子



【写真3】より良いものにするために、自分の見出しをもう一度振り返っている様子

児童生徒の反応や変容

- ・文章と写真を参考にし、必要な情報を精査する姿が見られた。
- ・端末上にある記事の本文に線を引いたり、書き込みをしたりして自分の考えをわかりやすく伝えようとする児童が増えた。
- ・端末を使うと修正がしやすいため、積極的に入力し、何度も読み返しながより良い見出しを作ろうとする姿が見られた。
- ・端末上ですぐに共有し、比較できることでより良いものを精査していこうと意欲的に活動できた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・児童が作った見出しを大型モニターに映し出し、すぐに共有できることで、効率よく話し合い活動に進むことができる。
- ・端末上で児童の考えの変容をすぐに確認することができ、その後の話し合いや振り返りに活かすことができる。
- ・アンケート機能で振り返りを行うことで、どの児童がどの程度目標に到達することができるかを一覧で確認できる。